

保谷駅 お客さまご案内用オープンカウンターと多機能トイレ

2月11日(日)初電車より使用開始

西武鉄道(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、2月11日(日)初電車より、お客さま案内用オープンカウンター、多機能トイレの使用を開始します。

平成17年9月より、国土交通省と西東京市からの助成を受けて進めてまいりました保谷駅のバリアフリー化は、昨年3月25日に工事が完了しております。

さらに駅事務室の建て替え工事と同時に進めてまいりましたお客さま案内用オープンカウンターと多機能トイレの設置と旅客トイレのリニューアル工事がこの度完了いたしました。

これにより、お客さま案内用オープンカウンターでは、改札口で自動改札機をご利用になるお客さまと分かれて、ゆとりある場所でご案内ができるようになるとともに、お体の不自由なお客さまだけでなく、お年寄りやお子さまをお連れのお客さまなど、どなたにもやさしい多機能トイレがご利用いただけるようになります。

西武鉄道は「人にやさしい鉄道」を目指し、今後とも努力してまいります。

詳細は別紙の通りです。



新しく設置された多機能トイレ

別紙

< 保谷駅について >

所在地	東京都西東京市東町 3-14-30
乗降人員	52,954人（平成17年度一日平均）
主な設備	・エレベーター... 3基 （南口、北口、ホームに各1基） ・エスカレーター... 4基 （南口、北口に各1基、ホームに2基） ・旅客トイレ... 1ヵ所（コンコース） ・多機能トイレ... 1ヵ所（コンコース） ・お客さまご案内用オープンカウンター... 1ヵ所（改札口） ・ホーム待合室... 1ヵ所（ホーム）

「多機能トイレ」とは

車いすをご利用のお客さまだけでなく、オストメイト、赤ちゃんをお連れの方等を含む多様なお客さまが使いやすいトイレのことで、手すり、オストメイトのパウチの洗浄機能、おむつ交換シート等の設備があります。

以上